

# 歩道・車道の完全分離工事の施工について

## 数多くのご意見ありがとうございました。

第24回通常総会で可決承認された当工事を施工するにあたり、16号棟北歩道に展示用インターロッキングとバリカー(本工事用とは材質や形状が多少異なる)を各3種類仮設置し、10月5日付広報アゼリア第494号でご意見を頂きました。その結果は、次のとおりです。

インターロッキング	:	A案賛成 - 114	B案賛成 - 34	C案賛成 - 49
バリカー	:	1案賛成 - 72	2案賛成 - 44	3案賛成 - 71

皆様のご意見を参考に、10月22日 第5回臨時理事会を開催し、改めて検討した結果、インターロッキングはA案、バリカーは1案を基本として、施工することにしました。ご協力ありがとうございました。なお、広報アゼリアをはじめ評議会及び号棟会などさまざまな機会に、本工事についてご意見、ご質問を頂いておりますので、ここで改めて工事の必要性、検討の経過、等について説明いたします。

## 工事の目的

本工事の目的は、歩道と車道を完全に分離することによって歩道・車道それぞれの本来の機能を維持することにあります。

当団地も高齢化の傾向にあり、杖や車いすの利用者、介助者を必要とする歩行者が増えてくものと予測します。その中で歩道が安全地帯として完全に確保されることが必要と考えます。安全対策に関して当管理組合はこれまで、事故が起きてから善後策を講ずるいわゆる後追い対策ではなく、常に先行的・予防的に対策を講じてきました。今回の工事も将来を見据えた先行的な措置であることを是非ご理解いただきたいと思います。

その実現方法として、歩道部分は美観および団地の資産価値向上も考慮してインターロッキング舗装し、歩道の安全地帯化を完全に確保するためバリカーを設置するものです。

## 工事の概要

以下、施工内容および考慮した事項等を具体的に説明いたします。

### インターロッキングについて

団地内の車道に面する歩道の部分をすべて、インターロッキング舗装します。

階段と歩道との間のアプローチ部分は、歩道部分とは色を変え区分を明確にします。

現在の車いす用の歩道段差切り下げ部分は、一部手直しをした後そのまま使います。

## バリカーについて

設置位置は、歩道のできるだけ車道寄りとして歩道の有効幅員を最大限に確保します。

設置間隔は、軽自動車が乗り上げできない程度の幅とし、約4メートル間隔を基準とします。

車いす用の歩道の段差切り下げ部分と横断歩道部分は避けて設置します。

材質は、自然石の方が安価であることが分かりましたので、自然石とすることにします。

形状は直径15センチ程度、高さは70センチ程度のものを考えております。

災害時の関係機関の活動については、何ら支障ないものと考えております。

フラワーポットについては、設置場所でそれぞれ機能していますので、当面現状のまま維持していく予定です。

## 検討の過程

本工事の計画ならびに施工について、これまでの検討の経過を整理しました。

4月16日、2004年度第6回臨時理事会で総会提出議案の最終確認を行いました。

5月10日、第24回通常総会議案書を全組合員に配布しました。

5月29日、第24回通常総会において賛成多数で可決承認されました。

6月18日、第2回臨時理事会で、通常総会で提起されたバリカー設置に対する懸念を検討するため、問題点を整理し今後の進め方について審議しました。

7月10日、評議会での各号棟会報告を参考に、バリカー設置に関しさらなる調査を行うこととしました。

7月16日、第3回臨時理事会で、他団地設置例の实地検証等の結果からバリカー設置にも問題ないことを確認し、各号棟に設置図面および写真等で実施内容案の詳細を説明することとしました。实地検証等の結果は次のとおりです。

市役所を訪問し、バリカー設置に伴う過去の事故の有無及び当団地での設置基準について確認し、事故例の報告がないこと及び設置規制がないことを確認しました。

近隣の団地(都営)を訪問し歩車道分離目的で設置されたインターロッキング及びバリカーを实地検証すると共に居住者の意見も聞き、有効性を確認しました。

10月1日、定例理事会で工事計画の詳細と付随する問題点について審議しました。住民の理解を得るため、ご意見を頂くことにし、図面等での説明には限界があることから、16号棟北歩道に展示用インターロッキングとバリカーを各3種類仮設置し、10月5日付広報アゼリア第494号でお知らせしました。

10月22日、第5回臨時理事会を開催して詳細について改めて検討しました。

### ご案内

昭島市の保健福祉センター「あいぼっく」(旧昭島市役所跡)の西側歩道には、当管理組合が計画しているインターロッキング舗装、バリカーとほぼ同様のものがすでに設置されていますので、関心のある方は実地にご覧頂けると幸いです。

以上